

## 平成 30 年度スポーツ活動に関するアンケート調査結果の概要

### 1 目的

スポーツ活動に関するアンケート調査は、平成 17 年度から毎年を実施しており、本年度で 14 回目の実施となる。

この調査は、『みよし市スポーツ推進計画』に基づき、みよし市民のスポーツ活動の現況とスポーツ活動に対する考え方を把握することにより、運動、スポーツによる健康・体力づくりや生涯スポーツ推進を一層充実するための基礎資料とする。

### 2 方法

(1)調査者：みよし市教育委員会

(2)調査対象：市民で小学 1 年生以上の男女 61,187 人（平成 30 年 7 月 1 日現在）

ア 一般市民調査：無作為抽出 1,025 人（1.68%）

調査方法：郵送回収

調査期間：平成 30 年 8 月 3 日から 8 月 24 日まで

イ 障がい者調査

調査方法：愛知県立三好特別支援学校に依頼  
生徒（高等部）40 人（内市民 6 人）

(3)調査期間：平成 30 年 12 月

### 3 回収状況

(1)一般市民調査：回収数 454 通／1,025 通＝回収率 44.3%（H29 回収率 42.9%）

（未成年者：84 通／151 通＝55.6% 成人：370 通／874 通＝42.3%）

※不明 4 通分は成人として計上

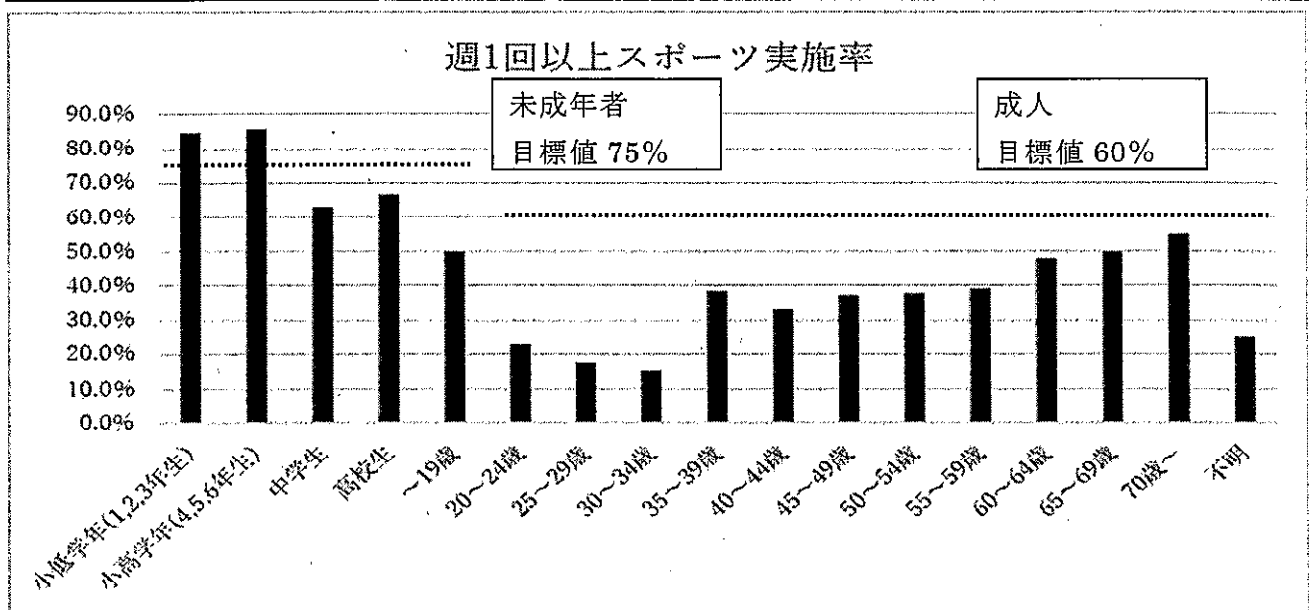
(2)障がい者調査：回収数 6 通／6 通＝回収率 100%

問2 この1年間に行った運動やスポーツの日数【行うスポーツ】

◎全体の週1回以上定期的にスポーツ活動を行ったスポーツ実施率は、45.2%だった。平成29年度の実施率は49.6%であり、比較すると4.2ポイント減少している。

◎定期的ではないがスポーツ活動を行った24.1%を加えた69.3%の人が、何らかの運動やスポーツをしているが、この実施率はここ4年で少しずつ減少している。 % (人)

この1年間にスポーツ活動を	H27年度調査	H28年度調査	H29年度調査	H30年度調査
定期的に行った(週1回以上)	47.7 (207)	50.2 (253)	49.6 (222)	45.2 (208)
定期的ではないが行った	30.9 (134)	26.4 (133)	23.7 (106)	24.1 (111)
行わなかった	16.6 (72)	23.4 (118)	25.4 (114)	29.8 (137)
未回答	4.8 (21)	0.0 (0)	1.3 (6)	0.9 (4)
合計	100.0 (434)	100.0 (504)	100.0 (448)	100.0 (460)



◎成人の週1回以上のスポーツ実施率

スポーツ推進計画における成人の週1回以上のスポーツ実施率の目標値は60%以上としている。平成30年度は38.4%となり、平成29年度と比較すると3.9ポイント減少しており、ここ4年で初めて40%をきることとなった。

この1年間にスポーツ活動を	スポーツ推進計画の目標値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
定期的に行った(週1回以上)	60%以上	40.4%	43.6%	42.3%	38.4%

◎未成年者の週1回以上のスポーツ実施率

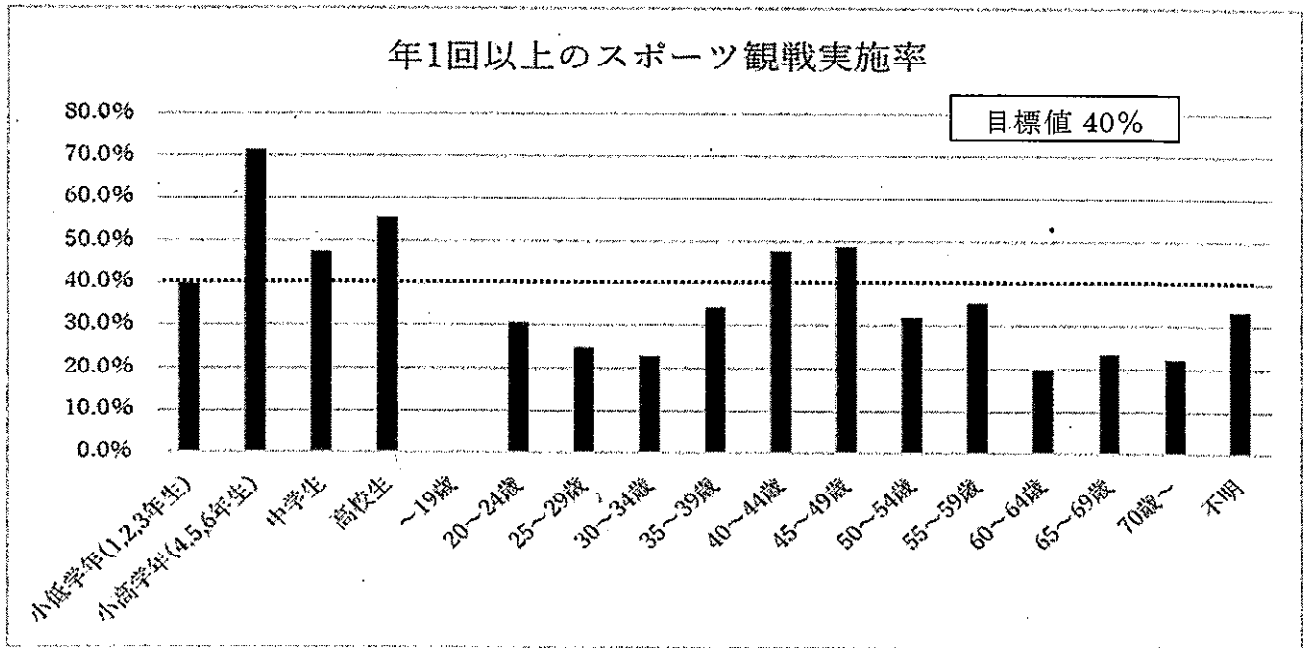
スポーツ推進計画における未成年者の週1回以上のスポーツ実施率の目標値は75%以上としている。平成30年度は73.3%となり、目標値を下回った。なお、中学生が平成29年度から17.8ポイント減少の63.2%となり、この実施率を押し下げる一因となっている。

この1年間にスポーツ活動を	スポーツ推進計画の目標値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
定期的に行った(週1回以上)	75%以上	64.7%	77.0%	77.1%	73.3%

問7 この1年間にスポーツ観戦を行ったか【観るスポーツ】

◎スポーツ推進計画におけるスポーツ観戦の目標値は40%以上としている。平成30年度調査では「日常的・定期的に行った」と「イベント・大会で不定期に行った」をあわせて36.0%という結果となった。平成29年度と比較すると0.4ポイント減少しているが、ここ3年は横ばいとなっている。

この1年間にスポーツ観戦を	スポーツ推進計画の目標値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
行った	40%以上	32.3%	35.6%	36.4%	36.0%

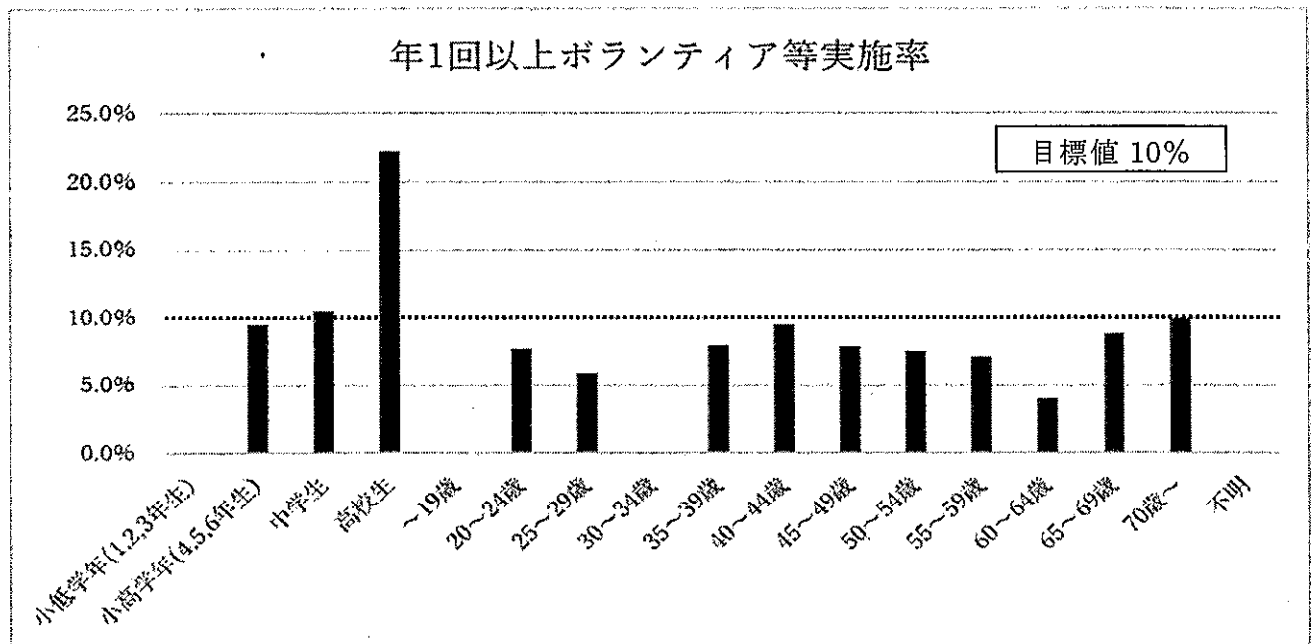


問 11 1年間にスポーツ指導等ボランティアを行ったか【支えるスポーツ】

◎支えるスポーツとして、スポーツに関わるボランティアの実施率の目標値を10%以上としている。平成30年度は「ア) 日常的・定期的に行った」及び「イ) イベント・大会で不定期に行った」と回答した割合は7.8%であり、平成29年度と比較すると2.2ポイント減少し、目標値を下回った。

◎年代別で見ると、平成29年度で10%を超えていた年代(小高学年、中学生、20～24歳、35～39歳、45～49歳、55～59歳、60～64歳)が平成30年度では軒並み10%を下回っているが、年代別では分母が小さい(最大50人程度)ため1人、2人の増減で割合に影響が出る。

この1年間にボランティア等を	スポーツ推進 計画の目標値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
行った	10%以上	7.2%	8.5%	10.0%	7.8%



問3 この1年間に運動やスポーツをした理由は

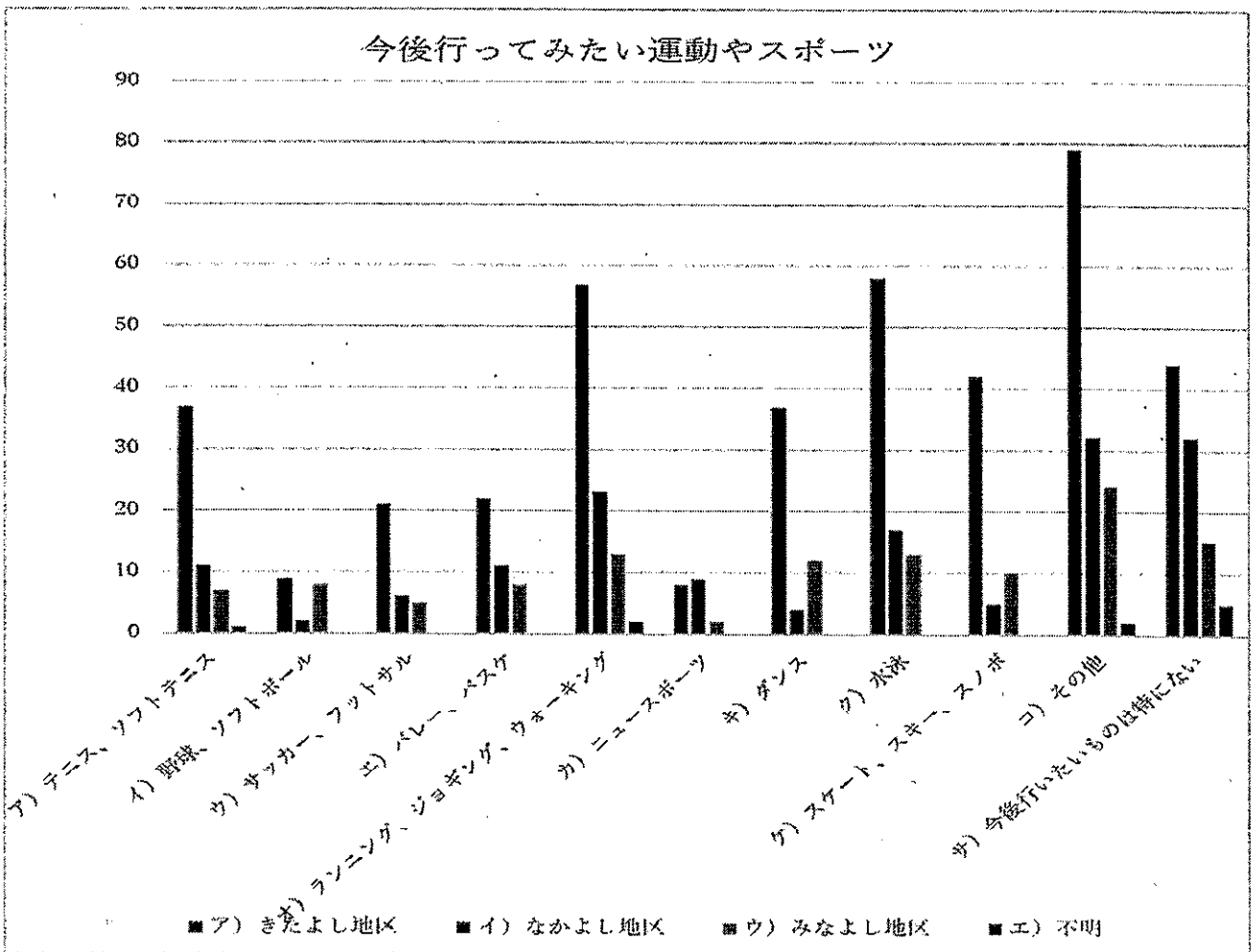
◎スポーツをした理由として、「健康づくり・体力づくりのため」が一番多く、次に「楽しみ・気晴らしのため」が多く、過去2年と全く同じ結果であった。運動・スポーツをする人は体調面、ストレス発散など健康面に気を配り活動していることが伺える。

問4 この1年間に運動やスポーツをしなかった理由は

◎スポーツをしなかった理由として、「仕事、家事が忙しい」が一番多く、次に「スポーツをする機会がない」が多く、問3同様、過去2年と全く同じ結果であった。政府の「働き方改革」による労働環境の改善が余暇時間を生み出すとしても、スポーツをする機会がなければスポーツの実施にはつながらないと考えられるので、今後ますますの家族で参加できる教室、講座、イベント等の開催の充実が必要と考えられる。

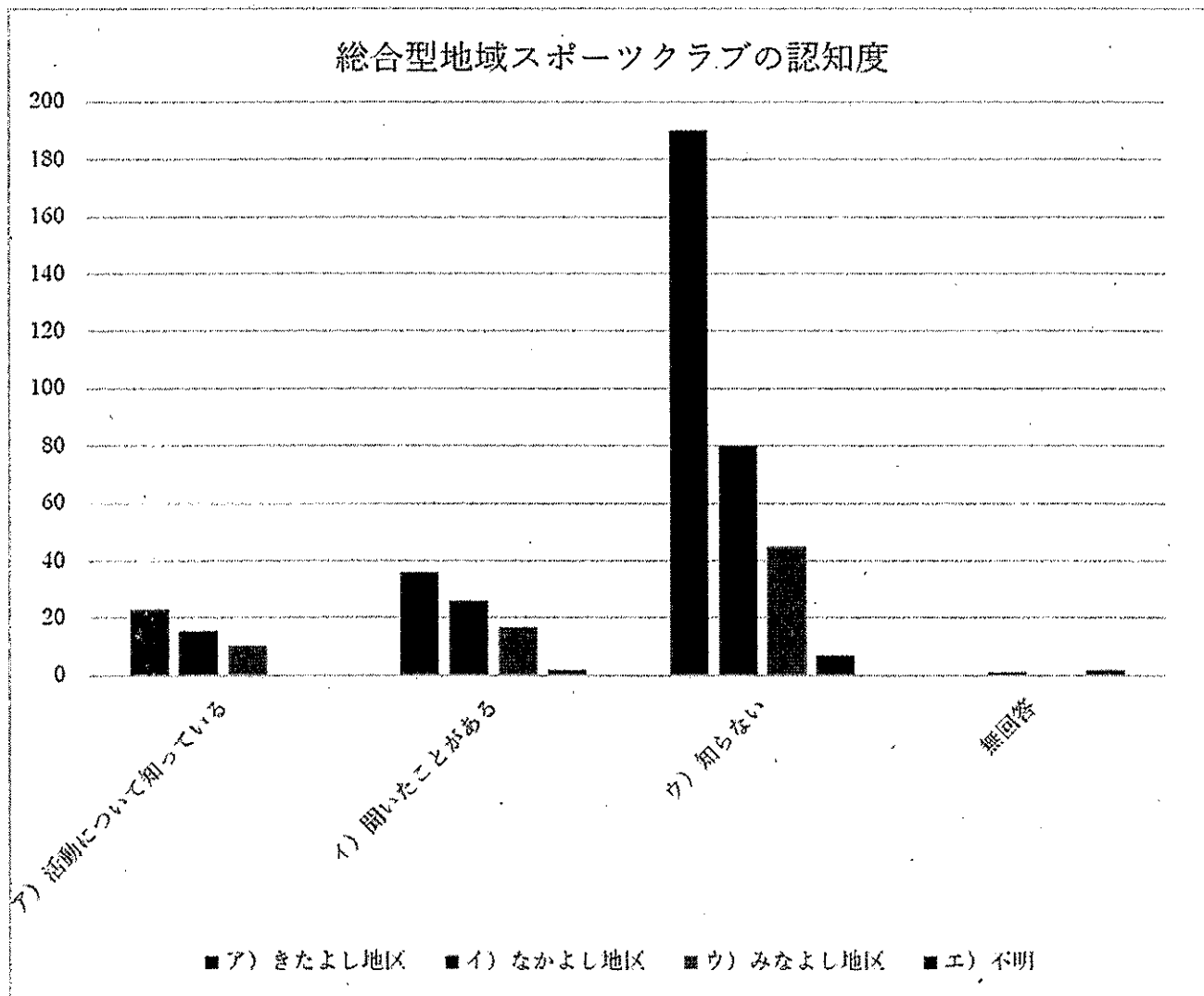
問5 今後、やってみたい運動・スポーツは

◎今後、やってみたい運動・スポーツは「ランニング、ジョギング、ウォーキング」が一番多く、「水泳」「スケート、スキー、スノボ」が続いた。地域別では、きたよし地区では「水泳」、なかよし地区では「ランニング、ジョギング、ウォーキング」、みなよし地区では「ランニング、ジョギング、ウォーキング」「水泳」が同数で、それぞれ一番多い種目であった。



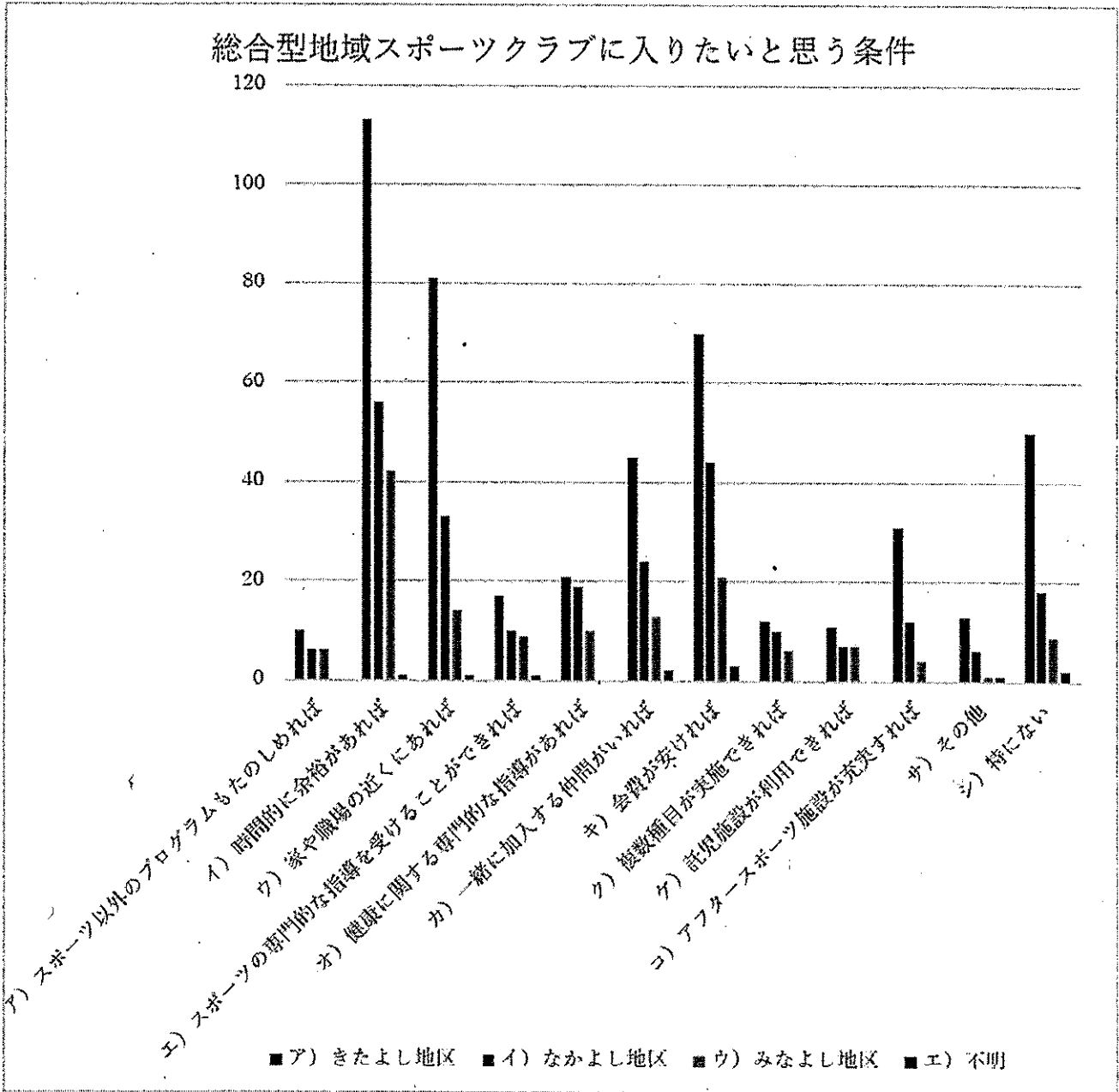
問 13 総合型地域スポーツクラブの認知度について

◎総合型地域スポーツクラブについて「知らない」という回答は 70.9%と半数以上であった。地域別では、きたよし地区では 76.3%、なかよし地区では 65.6%、みなよし地区では 62.5%と、いずれの地区でも「知らない」と回答した割合は半数以上であったが、きたよし地区とみなよし地区では 13.8 ポイントの差があった。この認知度については、3 地区の総合型地域スポーツクラブの活動年数の長さの違いが大きく影響しているものと考えられる。



問 15 総合型地域スポーツクラブ入会の条件について

◎総合型地域スポーツクラブに加入していない人で、どのような条件であれば加入を検討するかの回答では「時間的余裕があれば」という回答が一番多く、「会費が安ければ」「家や職場の近くにあれば」という回答が続いている。総合型地域スポーツクラブに割ける時間は他のことよりも優先順位が低い、ということが考えられる。



問 16 スポーツ振興にあたり、行政が注力すべきこと

◎市内全域では「年齢層にあったスポーツ・レクリエーションプログラムの開発普及」、「屋内スポーツ施設の整備」、「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」が上位を占めた。いずれもスポーツを実施するための場の提供についてのものである。

◎「年齢層にあったスポーツ・レクリエーションプログラムの開発普及」との回答率が平成 29 年度と比べると非常に高く、ハード面だけではなく、ソフト面での場の提供に対しての期待が高くなっている。

